

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	子宮頸癌 Type III 広汎子宮全摘出後再発高リスク群に対する同時化学放射線療法の有効性と安全性に関する検討		
1. 研究の目的と方法	初期子宮頸癌（ステージ1-4のうちの1,2期）と診断された患者さんに対して、根治を目指した手術療法が初回治療として行われます。特に日本ではType III 広汎子宮全摘出術という術式を採用しています（欧米諸国の手術と比べて、切除範囲が広く根治性が高いとされています）。術後の病理検査でリンパ節転移があり、もしくは子宮外の組織（傍子宮結合織といいます）への癌の浸潤ありと診断されると、術後再発リスクが高くなることがわかっています。再発する可能性を下げるため、そういった患者さんには追加で同時化学放射線療法を行うことが標準治療と考えられていますが、その効果に関してのデータが国内では十分ではありません。そこで当院で過去に行われた同様の患者さんの診療録から、効果と安全性を明らかにしたいと考えています。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2026年12月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	子宮頸癌の患者さんで、慈恵医大附属4病院で2012年1月1日～2021年12月31日の間に広汎子宮全摘後に同時化学放射線療法を受けたかた		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料：なし（診療録で過去のデータを調べます）	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	情報：年齢、進行期、手術日、年齢、検査データ（血液、CT、MRI）、治療内容、再発日、死亡日、副作用	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座
		氏名	岡本愛光
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座 鈴木瑛太郎	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	<p>この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。</p> <p>情報の利用開始予定日：2021年9月頃～</p>
【問い合わせ先】	<p>機関名：東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座 東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座</p> <p>研究代表者：岡本愛光（おかもと あいこう）電話：03-3433-1111（内線：3521） 附属病院窓口：岡本愛光（おかもと あいこう）電話：03-3433-1111（内線：3521） 葛飾医療センター窓口：斎藤元章（さいとう もとあき）電話：03-3603-2111（内線：5969） 第三病院窓口：山田恭輔（やまだ きょうすけ）電話：03-3480-1151（内線：3291） 柏病院窓口：高野浩邦（たかの ひろくに）電話：04-7164-1111（内線：3521）</p>

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。